

児童発達支援

## 事業所における自己評価結果

公表： 令和6年3月31日

事業所名：児童通所支援事業所ぶんぶん

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係が適切である	3	3	0		
	2 職員の配置数や専門性は適切である	6	0	0	・多く配置しています	
	3 生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか	6	0	0	・24時間換気システムが作動 ・室内や玩具等の消毒も毎日している	
	4 こども達の活動に合わせた空間となっているか	5	1	0		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	5	2	0	・パーティションを使用し個別空間を作っている	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6				
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	2		・検討していく
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会を確保している	6			・月1回社内研修を行っているその他に外部研修を各自スタッフ受けている	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6				
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6			・保護者と懇談の際に要望を聞いている	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6				
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6				
	15 こどもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1			
	16 児童発達支援計画には、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の中で必要な項目が適切に設定され、具体的な支援内容が設定されているか。	6				
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6				
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6				
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6				
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6				

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6				
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6				
	23	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか	6				・児発管が参加している
	25	母子保健や子ども・子育て支援などの関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3	2	1		
	26	移行支援で保育所や認定こども園、幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	1			・お迎え時に本児の様子を共有したり、個別支援計画を渡している
	27	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	1		
	28	児童発達支援センターや他児童発達支援事業所、発達障害支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか	5	1			
	29	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6				
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		4	2		
保護者への説明等	31	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6				
	32	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6				
	33	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6				
	34	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6				
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により保護者同士の連携を支援しているか		3	3		検討していきます
	36	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6				
	37	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6				
	38	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6				
	39	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6				
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関われた事業運営を図っているか。	6				・年一回開催する夏祭りに地域の方を招待しています

## 非常時等の対応

41	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6				
42	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6				
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこともの状況を確認しているか。	6				
44	食物アレルギーのあることものついて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6				
45	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	0	2	2		
46	こともの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	0	2	2		
47	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	3			
48	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6				

公表日:令和7年3月31日

事業所名:児童デイサービスぶんぶん

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	3			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して職員の配置数は適切であるか。	6				
	3 生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境になっているか	6				
	4 こども達の活動に合わせた空間となっているか	5	1			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6				
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握しその内容を業務改善につなげているか。	6				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	2		・検討していく
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6				
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6				
	12 アセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6				
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6				
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6				

15	こどもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1			
16	放課後等デイサービス計画には、放「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の中で必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6				
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6				
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6				
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6				
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6				
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6				
23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6				
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6				
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6				
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6				
27	母子保健やこども・子育て支援関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3	2	1		
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6				
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2			

機 関 や 保 護 者 と の 連 携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6				
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		4	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6				
	35	保護者の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		4	2		
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6				
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6				
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6				
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		3	3		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6				
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか	6				
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6				
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6				
	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知しているか	6				

非常時等の対応	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6				
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6				
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			食べ物提供時はスタッフ全員でチェックをしている	
	50	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1			
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6				